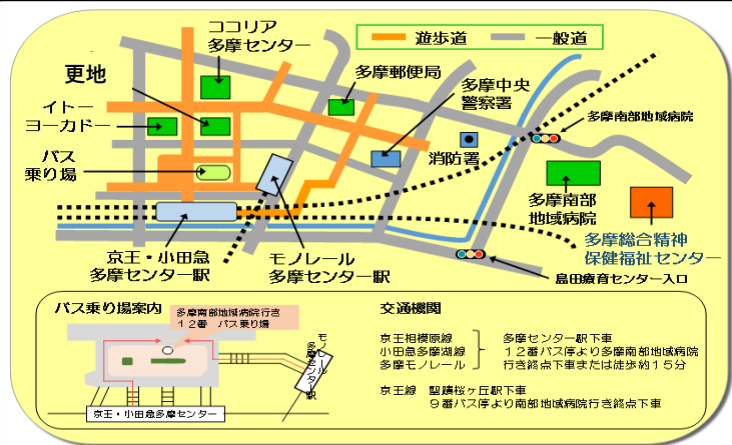


テーマ	薬物依存症の理解と回復への支援 ～薬物依存の現状と支援者としてできることを考える～
日時	令和8年12月2日(水曜日) 13時25分から16時45分
対象	・本研修は「依存症対策総合支援事業」に基づき、都内(区部・島しょ・多摩地域)の行政機関、民生委員、保護司、医療機関職員、教職員、依存症の相談支援を行う方、その他精神保健福祉関係機関職員等を対象に、薬物依存症に関する基礎的内容の習得を目的として実施 ※研修に關しての各種決定や案内は、LoGoフォームを通じて no-reply@logoform.jp で送りますので受信できる環境に設定してください。 ※研修の受講可否については、研修2週間前までに送付します。 ※「研修当日のご案内」「資料」を研修1週間前ごろに送付します。 ※オンライン研修については、受講決定後に当センターから送付するご案内をご確認ください。 参考 多摩ホームページ: https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/tamasou/kensyu_index/index.html ※会場受講希望者が多数の場合は抽選となります。 ※Zoom視聴に必要な環境(パソコン、タブレット等の端末で画面を見ることができ、音声を聞くことができるインターネット環境)が必要です。
定員・会場	ハイブリッド定員300名(会場受講25名含む) 会場:多摩総合精神保健福祉センター研修室

開催時間	講義名・講師	内容
13時10分から 13時25分から	Zoom入室開始、会場入室開始（会場参加の方は13時20分までに到着ください。） 研修案内	
13時30分から 16時30分まで (予定)	薬物依存症の理解と回復への支援 ～薬物依存の現状と支援者としてできることを考える～ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存症研究部 部長 同センター病院 薬物依存症センター センター長 精神科医師 松本 俊彦氏	年代を問わず、様々な生きづらさゆえに薬物を使用してしまい依存症になってしまう方がいます。 薬物の使用がやめられず、苦しんでいる方からの相談があった際、支援を行うにはどうしたらよいのか。 薬物の知識と、市販薬依存を含む薬物乱用や薬物依存症からの回復支援を学びます。
16時30分から	事務連絡、アンケート記入等	16時45分終了予定



- ※公共交通機関をご利用ください
- 鉄道 京王相模原線 小田急多摩線
多摩センター駅下車 徒歩15分
 - 多摩都市モノレール
多摩センター駅下車 徒歩13分
 - バス:多摩南部地域病院行き
・聖蹟桜ヶ丘駅⑨番のりば(所要時間約25分)
・多摩センター駅⑫番のりば(所要時間約5分)
※ 終点多摩南部地域病院下車徒歩1分
バスの時刻は検索ください。
 - 当センター駐車場は使用できません。